

定例生徒集会（2025 年 10 月 30 日）校長講話

第 19 話「那珂川図南」。江戸川コナンではなく、那珂川図南。

今日は、後期最初の集会。座っているのは前期と同じ位置だと思うだろう。
実際に位置が動くのは学年が上がるタイミングだが、連続的にとらえると、日々刻々と動いている。皆さんから見て、左から右に動いている。

この体育館は、先週来校された教育系 YouTuber の葉一さんも驚いていた、とても大きな体育館。幅は 34m。中学生は左端、高校生は真ん中からスタートしたとすると、それぞれ毎月 47cm、右に動いている計算になる。この集会の間にも 0.6mm、シャーペンの芯の太さくらい動いている。4 月から 7 か月経つので、3.29m 動いている。2 人が広げた手を繋いだのと同じくらい動いている。時は流れる。同じところにとどまってはられない。

方角で言うと、どっちに動いている？

正解は南。学校建築の原則は、南側に窓やベランダを置き、明るい光や眺望に恵まれるようにすること。本校の校舎もそうだし、この体育館も、南側にグラウンド、旧水戸城下の丸が広く開けている。皆さんは、北から南、那珂川の方から桜川の方へと進んでいる。

これからの季節、吹きつけてくるのは北風。木枯らし。木枯らしの季節には、行事も枯れる。楽しいとは少なく、苦しいこと、悲しいこと、不安や焦りも起きてくることだろう。

しかし、南へと進む私たちにとって、北風は向かい風にはならない。アゲンストの風ではない。追い風だ。フォローの風だ。北風は、私たちを鍛え、身を引き締めてくれる。私たちの背中を南へ南へと押してくれる。

高 3 の皆さんは、この高台の体育館から、南の地、すなわち自分の理想の地、目的の地へと羽ばたく「図南」のときが迫っている。

焦りを感じているだろうが、それは自然な反応であって、異常な反応ではない。初めてのことで、とても大きなことに挑むのだから、焦って当然。なので、焦っている自分に、焦る必要はない。焦っていないなら、少しは焦るべきだろうが。

焦りも不安も悩みも苦しみも悲しみも、いわば那珂川から吹き付ける北風を、自らの理想の地を目指す「図南」のエネルギーにかえて、進んでいってほしい。

高 2 年以下の皆さんも、あっという間に時は流れる。一日一日を大切に、自分を鍛え、力を蓄えていってほしい。